

開催日時	令和 4 年 10 月 21 日(金) 19 時 00 分～22 時 00 分
開催場所	Web
出席者	間瀬、沖山、山本、木澤、正木、永嶋、中川、小森、堤、前川、伊藤、檀辻、山口、成田、岩田、本田、小山、樋笠、有吉、清原、鮫島、岩井
欠席者	
記録者	中川
議題 1	会長報告
<p>会長行動録 県の補助金に関する動きがかなりあった。議員と県と面会した。 10 月 9 日 日本理学療法士協会組織運営協議会出席(資料あり) トリプル改定の件 10 月 15 日 協会理事 3 名と会談</p>	
議題 2	審議事項： 視界事業・ 予算委員会提言
<p>提言内容 (以下その一部。)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>新入会者を増やすために。<ul style="list-style-type: none"><li>新入会年度の県士会費を無料とする</li><li>兵庫県理学療法学会参加費を無料にする。</li></ul></li><li>骨太の方針を事業化するために<ul style="list-style-type: none"><li>骨太の方針に沿った事業計画を各部・委員会が企画し、目的を明確にした予算執行をすべきである。</li></ul></li><li>財務審議会の設置について<ul style="list-style-type: none"><li>事業計画に基づいて増加したベースアップを基準に他部委員会予算を削減する割合を検討する</li><li>過去 5 年間程度の決算状況の</li><li>就業規則の改訂と賃金規定の作成</li><li>総務部決算の透明化と細分化</li><li>収益事業 (介護予防事業) の切り離し</li><li>外部団体の PT 派遣依頼について</li></ul></li></ul> <p>今後の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>10 月下旬 臨時財務審議会設置・、メンバー人選</li><li>11 月 臨時財務審議会事前会議</li><li>11 月理事会 2023 年度から常設の審議会として財務審議会設置を提案</li><li>12 月理事会 常勤役員・事務職員業務検討 WG 提言</li><li>1 月 予算編成の実施</li></ul> <p>→了承。およそ提言の方向で進める。 12 月 8 日に拡大理事会をする予定。この提言をしてから予算を 12 月 25 日に締め切りにする。</p>	

議題3	審議事項：常務役員既定の取り扱いについて
<p>常務役員既定の中に事務局長が含まれているので、削除する必要がある。  文書自体はWGでは行わないとして動いている。  常勤事務局長の規定を作るにあたって、この文書によらなくてもいい。  非常勤の役員の規定のそうすることが必要であるということで、WGとして案件としてすべきか？  →非常勤の役員に報酬があった方がいいと思い、お願いした覚えがある。来年、再来年ということは考えていないが、検討するという事はお願いしたい。  報酬だけじゃなくて身分の保証やどれくらい働くかというのを入れたいと思います。</p> <p>常勤事務職員及びパートと職員の就業規則作成にかかる費用支出に関して。  入ってくれる人の身分を補償するためにも、入りたいと思うためにも作ろうとしている。社会労務士にお願いしようと2社に見積りを出してもらっている。55000円と330000円という2社がある。  →もう一人、社労士にも投げかけているがまだ返事がない。キャッチボールはしやすい。出てきた段階でそちらで検討してもらえればと思う。協会にも賃金規定を聞いたところ、そこにいた理事は分からないようだったので、協会の事務員から資料がもらえると思う。  予算審議会で予算をもらっているの、そこも考えてみたい。</p>	
議題4	審議事項：OT士会主催研修会「学校連携のできる世良び薄と(PTOTST)育成シンポジウム共催の共催について
<p>共催にしてほしいと依頼あり、1月22日に講師と2名の運営スタッフの派遣依頼。  交通費と日当がかかる。  →今回は受けるということがいい。  来年度からもあるなら、予算にかかわっているの、審議に挙げる。</p>	
議題5	協議事項：事務局長の給料額と定年制の話。
<p>ざっくりとした意見をおききたい。  65歳で600万円程度が妥当と思っている。  (質問)この話で決まればその方向に進んでいくということですか？  (返答)参考にするだけです。  (意見)WGで若い人が600万円が安いと言ったのは驚いた。  (意見)年齢60才過ぎたら神戸市でも落ちるので、見ている資料を参考にするのは少しどうかと思う。  (意見)定年を65歳にすればどうかと思う。  (意見)今、定年延長になっていて、65歳を伸ばそうとしている。世の中の風潮として70歳がいいのではないのかと思う。セカンドキャリアとして入っているの、60才でなって5年間というのは短いと思う。セカンドキャリアとして役職としていかれる方は1000万円くらいはもらっている。事務員として採用されるなら安くてもいいと思うが、役職として雇うなら、それ相当に出したほうがいい。  (意見)まだ今は65歳なので、この額を70歳までということであれば。若い人の目線で見るとどうということなんだと思うと思う。  (意見)ハローワークからアドバイザーが来たが、60歳定年で継続雇用として65歳と65歳定年で70歳まで継続雇用という風に国は動いているという話はある。  (意見)いろんな業績機関と話しているときに、偉い人のところまで行ける能力があればいいなと思っている。今県士会に求められているのはそういう能力を求められているのはそういう能力がある人で、そういう人に入ってほしいと思っている。若い人たちに聞いたが、500万円600万円という値は違和感があるとは聞かなかった。  (意見)ある程度オープンにしないといけないと思っている。前職で入って40歳代50歳代とすると、退職金規定、給料規定という形をとらないといけないと思っている。</p>	

議題 6	協議事項：士会役員協議会・男女共同参画推進合同研修会の参加者について
<p>士会役員協議会の研修会は部長、委員長以上が対象で会議費も支給しているため、今回も同様の予定だった。案内を出したところ、部員にも案内してもいいかという問い合わせがあり、相談したい。 →今まで通りの参加者として、後日アーカイヴで配信することとなった。</p>	
議題 9	その他：報告事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12月8日拡大理事会。12月25日予算締め切りが少し遅くなる。 部長にアナウンスする。</li> <li>・ 各研修会登録の方法と運用について 9月26日に学術局、支部の理事で協議した。 申し込みは基本的にマイページに事前登録に一本化。 参加者画面表示に関しては促す程度で主催者負担を考慮して必須としない。 →遅刻は30分まで。 参加者の登録が煩雑になっているので極力QRコードで進めたい。 スマホで研修会に参加しているとQRコードが読み込めないため、協会に要望を出している。</li> <li>・ 基金の進捗状況 医務課の窓口へ提出。マルチモビリティによって再入院が増えてきている。リハビリが役立つのではないかと説明した。 公明党の県議の先生にお声掛けいただいた。翌日対面をした。等々に「財務局に説明しやすいようにしてほしい。事務局の立ち上げは諦めてほしいといわれた。」姫路と神戸で研修するというのはいいが、本当にその役に立つのかと言われるので、実績があった方がいいということで姫路一か所で実績を作ることに変更した。結果、予算額は200万弱になった。12月半ばで答えが出るのではないかといいところだ。</li> <li>・ 第34回学会の趣意書が間に合わなかったのでラインワークスに週明けアップします。</li> </ul>	
議題 10	大目標の今までの活動と今度の活動性、方向性

「士会員の生活を守るための事業」

生活を守る職能活動（政治活動）

今後の活動、方向性 ロビー活動。  
連盟活動の支援。  
啓蒙活動の継続。  
管理者ネットワーク活動の推進。

生活を守る職能活動（県市長連携 補助金・雇用）

今後の活動、方向性 基金獲得に向けた作業の継続。  
本活動内容の無極設置の検討。  
委託事業の継続。

（質問）神戸市、市町村の補助金も考えているのか？

（回答）どこでもあればいいと思う。

どこでも出来るわけではないので県と神戸市位を考えている。

会員周知 ICT・DCの推進

今後の活動、方向性 広報部の人員補充。  
広報機能強化（ホームページの充実など）。  
県士会 HP の充実。  
デジタル人材の育成。

役員・管理者研修の充実（名称を「士会役員協議会」に変更）

今後の活動、方向性 士会役員に対し士会活動の方向性の統一を目標に研修会実施。  
年2～3回の検討。

情報収集する部局の必要性

今後の活動、方向性 資料調査部がその部局を担い、職能と連動していく。

学校保健の推進

今後の活動、方向性 活動継続と支援体制の検討。  
学校関連2名のPTと関連検討。  
事業増加時は担当部局の設置、各部との連携。  
市町教育委員会へのアピール。

理学療法啓発・社会貢献活動

今後の活動、方向性 活動内容の検討。  
必要な活動の継続。

情報収集する部局の必要性は目標達成しているので削除するか。→よく仕事をしており、名称変更をして残す。

「資質の向上」

登録理学療法士取得の促進・補充プログラムの検討

今後の活動 幅広い研修プログラムの構築。  
開催方法の検討。  
研修会承認ルールの広報。公開。  
アーカイブコンテンツの充実。  
取得状況の把握。

認定専門理学療法士取得の促進

今後の方針 県内教育機関の増加（士会主催も含めて）。

（意見）方向をどう手段ですればいいのかなと思う

糖尿病など有名な先生が県士会にいるので多くの方々をいれて考えていきたい。

臨床実習指導者講習会の充実

今後の方針、方向性 臨床実習講習部が改姓主体となる臨床実習指導者講習会の実施。  
世話人ブラッシュアップ研修会の検討。  
→「将来の臨床実習指導者講習会あり方の検討」に変更したいと思う。

#### 県学会の充実。多領域学会へ

今後の活動、方向性 第34回を他領域が集う学会大会へ。  
第35回以降の大会長長保要件の整理。  
参加者促進策の検討。  
企業協賛による収益確保。  
昨年、今年も協賛もいたが、協賛会社にメリットがないといけないと思っている。

#### 地域リハ・予防関連の研修の充実

今後の活動、方向性 健康増進部の自主事業の企画支援。  
健康増進部と保健福祉部の共催で事業の実施について検討する。地域リハ・介護  
予防に資する事業を模索する。  
研修会のアーカイブコンテンツ数の増加。  
研修会の新生涯学習制度のポイント取得の申請。

#### 感染対策委員会（→必要な感染対策知識、技術の普及）

今後の活動、方向性 感染状況を見ながら、今後の活動を検討。  
HPな祖を利用した情報発信の促進。

#### 「女性活躍の推進」

今後の活動、方向性 今度の目標・活動内容の明確化。  
小サークルの実施。

#### 「事務局機能の推進」

#### 審議・報告事項の整理・方法検討

今後の活動、方向性 必要に応じた再検討。  
会議の次第と資料の一体化。

#### 議事録の充実

今後の活動 さらなる議事録の充実。

#### 規定集の編集

今後の活動、方向性 規定集の改定・編集。  
規定集の公開方法検討。  
規定変更に関する事務機能の充実。  
→規定集の改正・再編。

#### 制度見直し

今後の活動、方向性 代議員選挙制度は制度の維持しつつも立候補者の数なども含め検討する。  
理事選挙については、総数でも70名程度の代議員で投票するので、現在の定  
数内連記方法でいいのか、より多くの票数で競えるよう方法を見直すべきか検  
討していく。

#### 士会事業、予算の検討

今後の活動、方針 財務委員会の設置。  
予算再配分の実施 予算再編。  
5年間の各部予算の分析。  
(スポ活・保健福祉部・職能部など予算規模の大きな部門)  
適切な会費の検討。

次回部会 日時・場所	日時; 令和4年11月17日(金)19時から 場所; web
今後の予定	12月8日拡大理事会 12月25日来年度予算の提出締め切り